

市長  
コラム



# 山岳遭難

いなべ市長 日沖 靖



深夜の緊急連絡。「山で遭難者がでました。明朝6時に集合してください。」

消防団員に緊張感が走る瞬間です。連絡を受けると消防団員のみなさんは仕事や予定を全てキャンセルして危険な山岳捜索に向かいます。

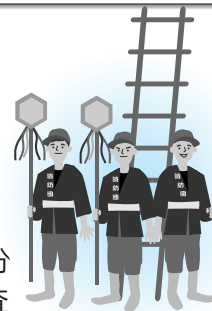
1千メートル級の山並みが連なる鈴鹿山脈。市内でも毎年10万人以上が登山に訪れています。しかし、その陰で山岳遭難は後を絶ちません。たった独りで藤原岳から竜ヶ岳の縦走を計画し、治田峠付近で道に迷い、そのまま山中でビバーク（野宿）したケース。昼過ぎから竜ヶ岳山頂を目指し、深夜になっても下山しなかったケース。親子2人で山に入り途中で我が子を見失ったケース。最近起きたケースは幸いけがもなく無事発見されましたが、滑落して命を落とすことも珍しくはありません。捜索願が出される度に警察署や消防署の職員、さらに消防団員や市役所職員が捜索に向かいます。

このような山岳遭難の防止のために、先月、消防団、警察署、消防署そして石榑森林組合との合同で恒例の山岳救助訓練が行われました。竜ヶ岳、宇賀溪の登山道には3年前より、現在位置を確認できる番号プレートと山岳地図の標示板が約2百箇所設けられています。今回の訓練ではさらに、蛍光テープを数十メートル間隔で木に巻きつけ、夜間でも登山道の目印や標示板が良くわかるようにマーキングしていただきました。

鈴鹿山系の登山道の内、竜ヶ岳は主に石榑森林組合のみなさんのご奉仕により、藤原岳は山岳連盟やスキークラブなど山を愛するみなさんのご協力により、ごみ拾い、草刈りや橋の架け替えなどが行われています。

遭難救助や登山道の管理にご尽力にいただいていますみなさんに感謝いたしますとともに、登山される方も山のルールを守り、安全に心掛けていただきたいと思います。

# いなべ市消防団 NEWS



いなべ市消防団大安地区団は、6月12日にいなべ警察署、桑名市消防署員弁南分署、石榑森林組合の協力を頂き、宇賀溪竜ヶ岳登山道の把握および危険箇所の調査を行いました。

登山者の方に少しでも安全に山を楽しんでもらえるようにと、カラーテープにより登山道の表示作業等を実施した。



消防団大安地区団  
山岳訓練の様子

問い合わせ先……員弁庁舎 総務課 ☎74-5801 FAX 74-5800